

平成29年度

第2回岡山市男女共同参画専門委員会要旨

- 1 日 時 平成29年11月22日(水) 午後3時30分～午後5時
- 2 場 所 岡山市役所議会棟3階第1会議室
- 3 出席委員 高田委員長、貝原委員、寺尾委員、土井委員、中塚委員、原田委員、日笠委員、松井委員、光岡委員
- 4 出席職員 小野市民協働局統括審議監  
(女性が輝くまちづくり推進課) 逢澤審議監、石原課長代理、祇園館長、高村主査、植木副主査
- 5 傍聴者 1名
- 6 議 事
  - (1) 岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例第19条第2項の適用審査について(報告)
  - (2) 岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例第19条第3項運用基準適用について(報告)
  - (3) 岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する基本計画「第4次さんかくプラン」数値目標及び成果指標に係る現状値(平成29年度)について
  - (4) その他
- 7 配布資料
  - 資料 1 岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例第19条第2項の適用に係る審査票(報告)【介護認定審査会】
  - 資料 2 岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例第19条第2項の適用に係る審査票(第19条第3項運用基準適用)【介護認定審査会】
  - 資料 3 岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する基本計画「第4次さんかくプラン」数値目標及び成果指標に係る現状値(平成29年度)(案)
- 8 会議の状況
  - 議題1、2 岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例第19条第2項の適用審査及び第19条第3項運用基準適用について(報告)
    - 事務局の報告  
資料1、資料2-1、2-2「介護認定審査会」について事務局より説明。正副委員長に承認いただいたことを報告
    - 主な意見
      - ・介護認定審査会は5名が基本であるが、岡山市は4名でやっている。他の小さな市町村でも5名でやっている。人数が多い方が正確に判定できるので、一人増をお願いしたい。また、必要であれば公募などで女性委員をお願いしたい。
      - ・上記の意見を介護保険課に伝えてほしい。
  - 議題3 岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する基本計画「第4次さんかくプラン」数値目標及び成果指標に係る現状値(平成29年度)について

## ○主な意見

### 数値目標及び成果指標の説明について（P 5）

- ・数値目標という言葉が枠で囲い、その後ろに説明文、成果指標という言葉が枠で囲い、その後ろに説明文というように項目に分けて読みやすくしたらいいのではないか。

### 目標①、② 「男女平等の内容を含んだ」、「男女平等の視点」について（P 7）

- ・「男女平等の内容を含んだ」、「男女平等の視点」とあるが、今は男女平等だけではなく性別にかかわらずということである。この文章は5年間変えられないが、男女平等の内容を含んだ授業をしたか聞くときに、括弧書きでジェンダーフリーと入れるなど聞き方に工夫をしてほしい。男女平等の授業となると内容のチェックが難しい。ホモやオカマと言われて傷ついている子どももたくさんいる。そういう人たちも含めて男女平等なんだということがわかるような聞き方をしたほうが、そういうものも男女平等に入るとということが啓発できる。  
5年後の改定の時は、男女平等という言葉を除くという話になったらいいと思う。性の多様性やジェンダーフリーも含めて男女平等という聞き方をしているのであればいい。  
→男女平等の内容を含んだ授業の具体的な学習のテーマが、生命の尊重、個性の尊重、自尊感情の醸成、性に対する認識、DV防止などあり、その中に性別にかかわらずというものを織り込んでやっている。
- ・人権尊重と男女平等は少し違う。人権尊重は障害者などいろいろあり、それも含めて男女平等の中に入れる聞き方になっている。ジェンダーフリーの教育をしたかになると100%にならないかもしれない。

### 指標C 子どものインターネット使用におけるフィルタリング普及率（P 9）

- ・市民1,000人の中で18歳未満の子どもを持つ人を選び、その中での割合だと思うが、18歳未満の子どもを持つ人が何人かなど一文書いた方がいいのではないか。
- ・フィルタリングを利用している人と利用したいと思っている人を足しているが、利用している人と利用したいと思っている人は全く別である。利用したいと思っている人は利用していない人なので、一緒にするのはではなく、利用している人、利用したいと思っている人それぞれの数字を記載した方がよい。79.8%のうち利用しているのは26.3%で3分の1。結局3分の2は利用していないので、この数字だけ見て増えているといっても利用したいと思っている人が増えているだけでは意味がない。

### 目標⑤ 市の実施するDV・デートDV防止啓発講座等の受講者数（P 11）

- ・DVとデートDVは対象が異なるため、講座の内容やどういう人を対象にしたかなど内容がわかるようにしてはどうか。これからはデートDVの啓発では若年女性に対する性的暴力（JKやAVなど）を含めた講演会をしてほしい。  
デートDVの啓発は大学では遅い。県の事業ではいくつかの高校に出前を行っている。民間団体では中学校に行っている。
- ・あまり知識のない中学生ぐらいが被害を受けるので、必要性を学校に伝えて時間を持つよう働きかけることが必要ではないか。
- ・講座や研修会のイメージであるが、ホームルームや日常などでもやろうと思えばできる。講演会などは予算の関係もあるので、手を挙げたところに行っている。それよりもパンフレットを配るほうが有効かもしれない。
- ・教員を対象とした研修も必要。教員が十分に理解していないと、ホームルームなどの対応ができない。

- ・JKビジネスやデートDVも含めて相談できるところがない。若い人が公的な機関に相談に行くことは少ない。岡山市の相談支援センターの相談員が内閣府などの研修を受け、若年女性の相談もできるようになってほしい。
- ・相談員は何人か。常時何人ぐらいで相談を受けているのか。相談時間は何時から何時までか。→相談員は5人で、2人から3人体制で受けている。相談時間は10時から19時30分までとなっている。
- ・19時30分までやっている所は他にはない。だいたい16時30分ぐらいで終わるが、学校が終わった後や、勤務が終わった後に相談できるので、岡山市の相談支援センターはいい。

#### 指標N 岡山市に住み続けたい外国人の割合（P18）

- ・回収率が低いところは、必ずしも目標値が達成しているとは言えないのではないか。外国人などかなり少ない。これで達成したというのは語弊があるのではないか。

#### 目標⑩ 保育所等の待機児童数（P22）

- ・待機児童数4月1日現在というのは、一番悪い数値が出てくるということか。申し込みが集中する時期であれば足りなくなってくる時期か。→4月1日の入所人数より5月1日の人数のほうが多くなる。4月1日が一番大きい数字になる。
- ・数字だけが少なく見えている時期ではなく、一番大きい値が見えるのがいい。

#### 目標⑬ 放課後児童クラブの入所希望に対する入所児童の割合（P22）

- ・現実に生の声を聞くと入れない子供たちは多い。表面的な数値と現実には違和感がある。→学童保育の入所希望に対する入所児童の割合は、在籍児童数7,060人で待機児童数が62人なので、99.1%になっている。
- ・学童保育の待機児童の定義は、保育と同じか。→学童保育は通っている学校に入るのが基本。一部の学校で何校かで一つの学童というところもある。児童数が多い学校は、校舎も一杯で、入りたくても希望しない人もいるが、申込書が出ている数字しかわからない。
- ・対象となる学校の全児童の中で入所を希望し申請書を出した人の割合は出るか。申請書を出す前の段階で、事前に審査されているのか、最初から諦めて出していないのか。
- ・申請書を出した人の割合を参考値で記入し、そのうえでこの数字を見るとよい。申請した人の割合が上がってきていて、入所児童の割合が99%保っているならいいと思う。二つの数字を見ないと、待機児童0と同じことである。おそらく5年間数字を見ても変わらない。

#### 指標R 男性の介護参加率（P23）

- ・介護をしたことがあるかという質問で、介護という概念は広いので、介護という言葉について注釈を入れ、市民にわかりやすくして回収したらよかったのではないかな。

#### 指標S 仕事と生活とのバランスの満足度（P23）

- ・女性と男性でWLBがとれていると思う人の割合は女性が高いということであるが、女性は非正規が多く、正規より非正規のほうが、WLBがとれていると答えるので、結果として女性の割合が高くなる。正規同士の男性女性、非正規同士の男性女性を比べると正確に評価できる。

目標⑮ 市の実施する再就職支援講座受講者のうち就職に向けて活動した人の割合（P 2 5）

- ・これは、活動して実際に就職した人の数値ではないのか。  
→実際に就職した数値ではなくて、講座を受講し、マザーズハローワークに行った、ホームページを検索したなど就労に向けて活動をした人の割合である。この中で実際に就職した人が何パーセントかといった数字も把握するように今後検討したい。

指標 T 女性管理職を増やす取組をおこなっている事業者の割合（P 2 5）

- ・女性管理職の定義を示したほうがよい。

目標⑯ 市職員の女性管理職の割合（P 2 6）

- ・全職員のうち男性が何人いて女性が何人いるかを記載したほうがいい。その中で管理職が 4 0 5 人、女性管理職は 1 割しかいないというほうがわかりやすい。市がモデルにならないといけない。

議題 4 その他

○次回開催予定

次回は 2 月に開催予定。後日、日程調整を行う。